

## ～小さな双葉がすくすくとたくましく育つように～

須坂双葉幼稚園

園長 垂澤優樹

私、須坂双葉幼稚園園長の垂澤優樹と申します。本日は、本園の入園説明会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。まず、本園の教育目標についてお話させていただきます。本園の教育目標は「明るく元気にのびのびと遊び、ものごとに意欲的に取り組む子どもの姿を目指す」です。教育目標に「あそび」という言葉があるように、本園は「あそび」を重視しています。では、なぜ「あそび」が大切なのでしょうか？

皆さんは「非認知能力」という言葉を聞いたことがありますか？非認知能力とは、肉体的健康・精神的健康・根気強さ・意欲・自信・探求心といった数値で図ることのできない能力であり、近年大きな注目を集めています。これらの非認知能力は幼児期に大きく成長するといわれており、幼児期の「あそび」を通して成長します。私たちはそんな子どもたちの「あそび」が広がるよう適切な行い環境設定を行い、子どもたちの「あそび」の援助をしています。ですから、私は幼稚園の先生の専門性は？と問われたときに、真っ先に「子どもの笑顔を引き出すことのできるプロ」とお答えしますし、本園の教職員にも楽しく、やりがいを感じてもらえるような職場の雰囲気づくりを目指しています。

幼稚園というと、とかく勉強をするところ、というイメージが先行しがちですが、本園は決してそんなことはありません。また、「園で楽しそうに遊んでいるけれど、勉強についていけないか心配」という声も耳にしますが、私たち大人は《あそび》と《学習》を区別して考えがちです。子どもは、あそびであれ、学習であれ、興味・関心があることに夢中になることで、様々な経験や発見を得ています。本園が大切にしたい「あそび」の姿とは、子どもが興味・関心に基づいて、自発的にやりたいことに夢中になる姿です。このような姿により、一人一人の子どもの主体性が育まれていきます。

ここで、私が考える須坂双葉幼稚園の「ふたば」について、本園のスローガンを述べさせていただきます。

「小さな双葉がすくすくとたくましく育つように」

まぶしい太陽の光と吹き抜ける風、輝く水たまり。何気ない毎日の中にかげがえのない瞬間を繰り返し生き生きとした感性を育む子どもたちはすくすくと育つ小さな芽。私たち須坂双葉幼稚園はそんな小さな芽がのびやかに育つ毎日に寄り添い、たくましさやさしさを培います。

幼児期の教育は人格形成の基礎を培う重要なものです。「人間として生きていく力を育む」のです。目標に向かって頑張る力、友達や先生とうまくかかわる力、感情をコントロールする力などの基礎を培う大切な時期です。私たち教職員一同は、本園の教育目標をしっかりと子どもたちに育んでいく所存です。

次に、須坂双葉幼稚園の概要をお伝えいたします。

本園は昭和42年に開園し、昭和46年に学校法人認可を取得しました。平成30年4月からは新園舎竣工、そして幼稚園型認定こども園として再スタートしました。創立以来、須坂市の幼児教育の一翼を担い続け、これまで多くの卒園児が巣立っていきました。今も「ふたばさん」として、須坂市民に親しまれています。

以上、本園の教育目標や園の概要を中心にお話させていただきました。

最後に、キッズデザイン賞を授賞している本園の園舎についてお伝えさせていただきます。三角形の形をしている特徴的な園舎ですが、本園の園舎には壁がありません。各クラスを仕切っているのは稼働間仕切りで、いざとなれば園舎内が全て一つの空間でつながります。これは、この園舎が全て子どもの遊びの場であり、クラスの枠を超えてみんなが園舎で遊べるためであり、上にあるキャットウォークも含めて、園舎内を自由に行き来することができます。こうした設計になっているため、ホールや保育室が密になることが少なく、また、園の屋上テラスも遊べる設計になっており、異年齢の子どもたちが同時に同じ空間で生活できる環境を作り出しており、子どもたちが常にお互いの行動を見て学び、実践し、新しい環境が常に生まれる環境の中で成長できることを意図しています。園舎は平屋建てであり、どのクラスからもすぐに園庭に出ることができるため、屋外が身近な存在になっており、子どもたちはいつも元気いっぱい遊んでいます。

また、三角形のかたちをしているため、地震にも強い構造となっています。玄関にはセキュリティーがかかっており、保護者の方以外は容易には園舎内には入ることができません。また、防

犯カメラも4台設置しており、不審者対策もしております。空調関係では、全室エアコンまた蓄熱式床暖房を設置しており、夏場は年中症対策、冬場はインフルエンザ等の感染症対策に努めています。

スクールバスは市内全域を運行しており、現在はマイクロバス・ハイエースの2台で運行しています。スクールバスの運行については必ず運転手と添乗の先生が安全を確認し、安全第一で運行しています。ルートは毎年、利用希望者によってルートを決めており、可能な限り自宅に近いところで乗降するよう心がけています。

給食は自園給食です。本園では委託給食部門で日本最大手の「日清医療食品株式会社」が園の厨房を使って調理し、毎日「安心・安全で温かい給食」がでできます。ご自宅から持参するものは箸・ナフキンのみとなっており、食器や主食も園から出ます。「食」の基本は楽しく食べることであるという考えのもと、午後のおやつも全園児が厨房から出るおやつを食べ、給食が苦手な子ども、少しでも園の給食の時間が好きになれるよう工夫をしています。年に数回ある「おにぎり」の日には臥竜公園や緑地公園に園外保育にでかけ、自然の中でおにぎりを食べて帰ります。

以上、園の概要等を説明させていただきました。

本日お伝えしきれなかった部分については、後日改めて個別の説明会や見学にも対応致しますので、お気軽にお問い合わせください。